

第5章

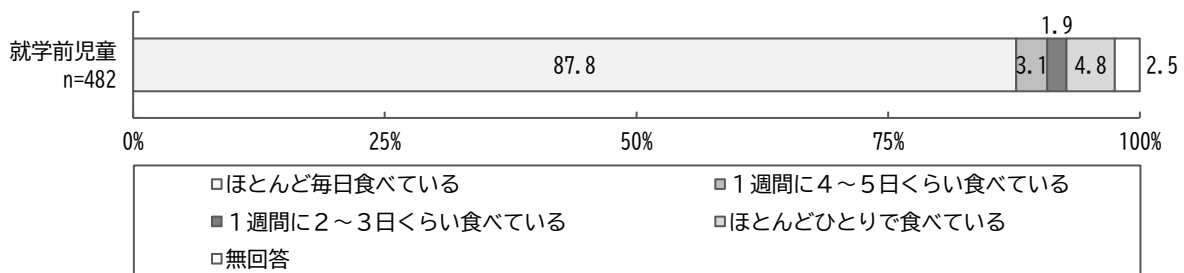
子育ての環境や支援の満足度

第5章 子育ての環境や支援の満足度

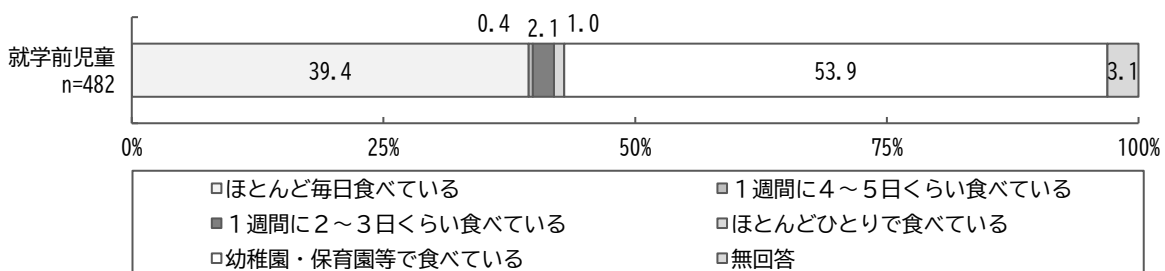
1 子育て家庭の暮らし向きについて

○就学前児童が食事を家族の誰かと一緒に食べているかについてみると、朝食では「ほとんど毎日食べている」(87.8%)、昼食では「幼稚園・保育園等で食べている」(53.9%)、夕食では「ほとんど毎日食べている」(92.3%)が最も高くなっています。

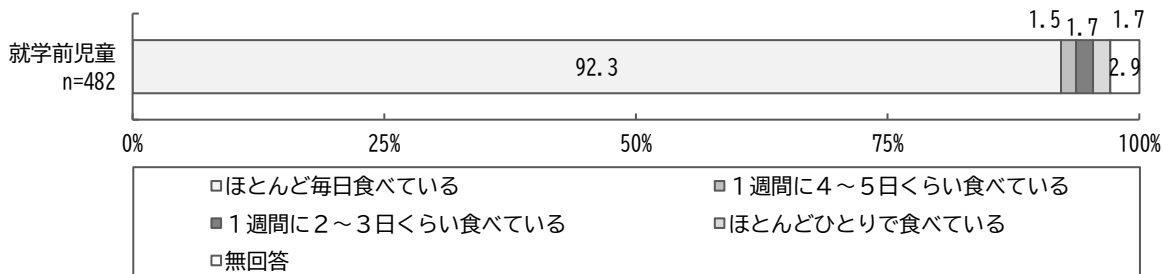
問31(1) 朝食を家族の誰かと一緒に食べているか



問31(2) 昼食を家族の誰かと一緒に食べているか

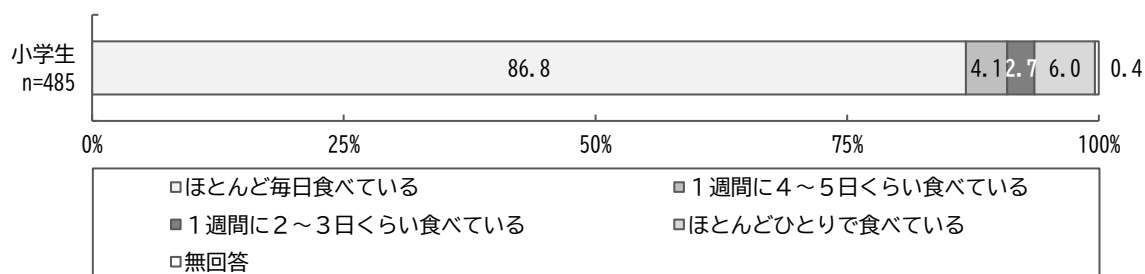


問31(3) 夕食を家族の誰かと一緒に食べているか

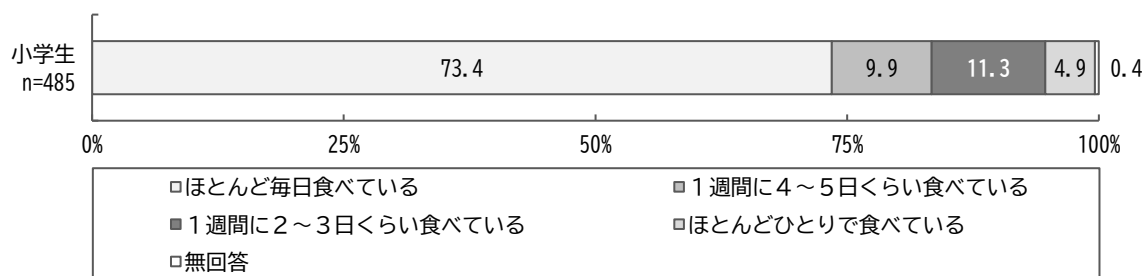


○小学生が食事を家族の誰かと一緒に食べているかについてみると、朝食、昼食、夕食いずれも「ほとんど毎日食べている」(86.8%・73.4%・96.9%) が最も高くなっています。

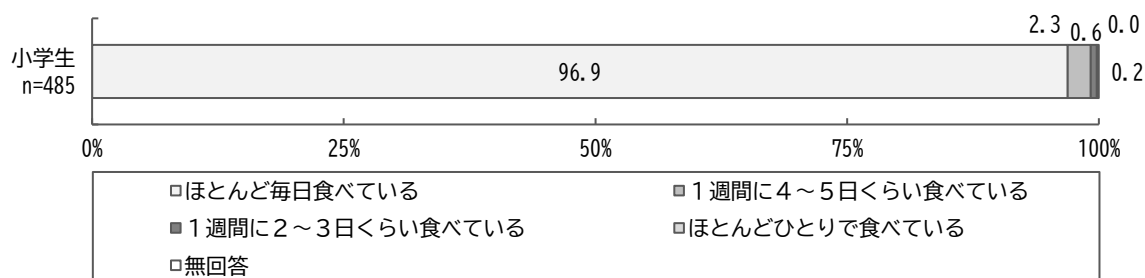
〔問11(1)〕 朝食を家族の誰かと一緒に食べているか



〔問11(2)〕 昼食を家族の誰かと一緒に食べているか(長期休暇期間のみ)



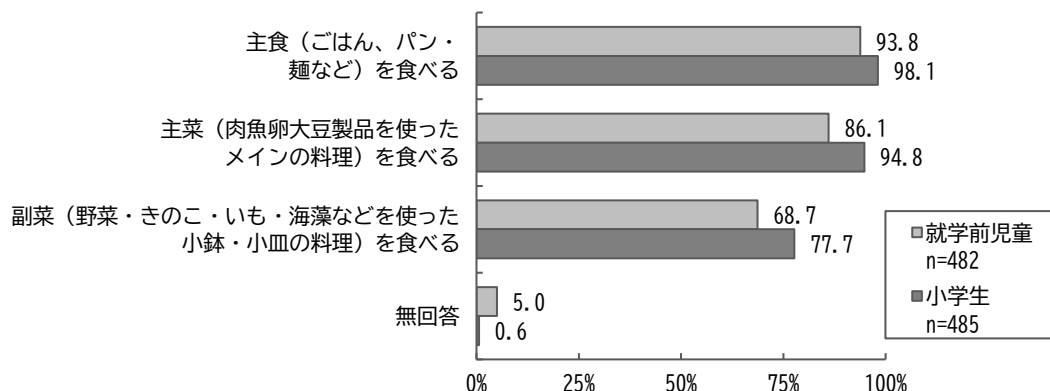
〔問11(3)〕 夕食を家族の誰かと一緒に食べているか



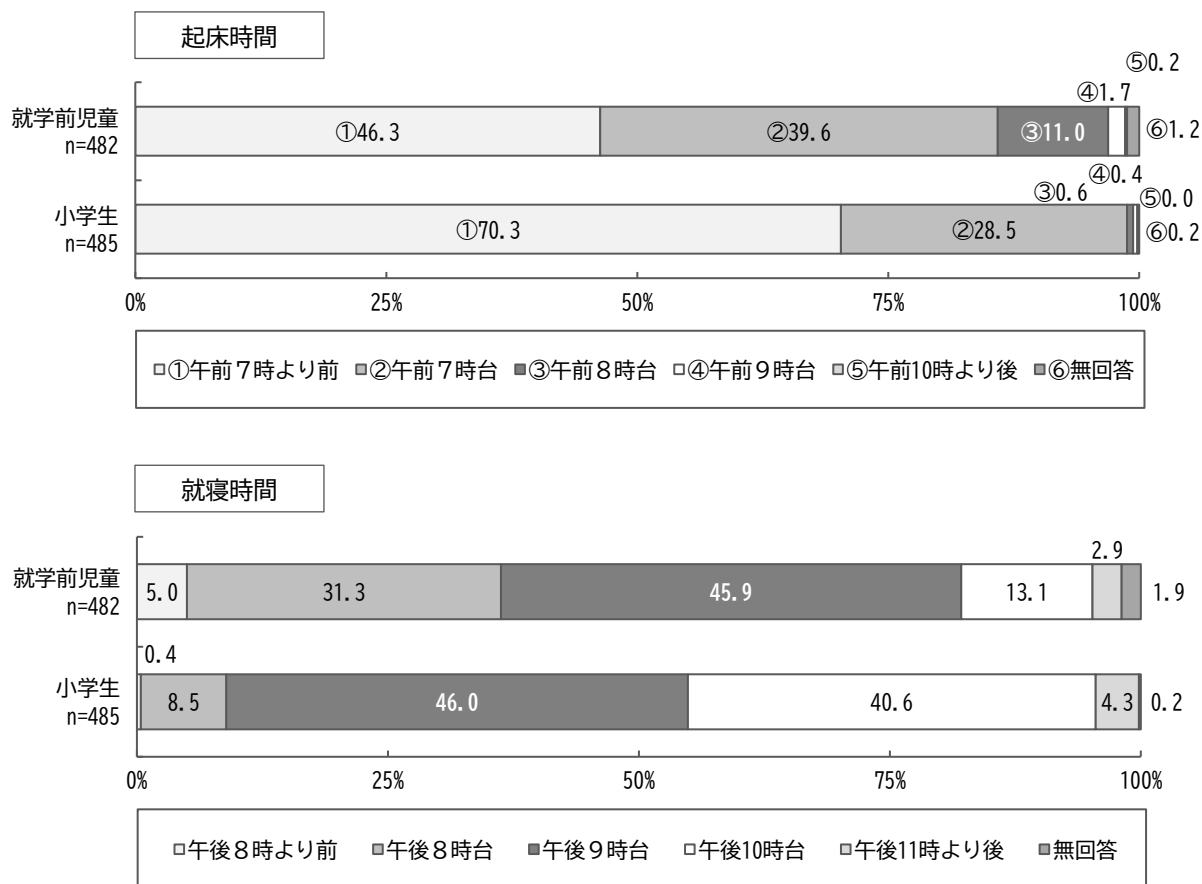
○子どもが夕食で主食・主菜・副菜を食べているかについてみると、就学前児童、小学生いずれも主食は9割以上、主菜は約9割、副菜は約7割が食べています。

○子どもの起床時間、就寝時間についてみると、起床時間では就学前児童、小学生いずれも「午前7時より前」（就学前児童46.3%・小学生70.3%）、就寝時間では就学前児童、小学生いずれも「午後9時台」（就学前児童45.9%・小学生46.0%）が最も高くなっています。

問32[問12] 夕食で主食・主菜・副菜を食べているか

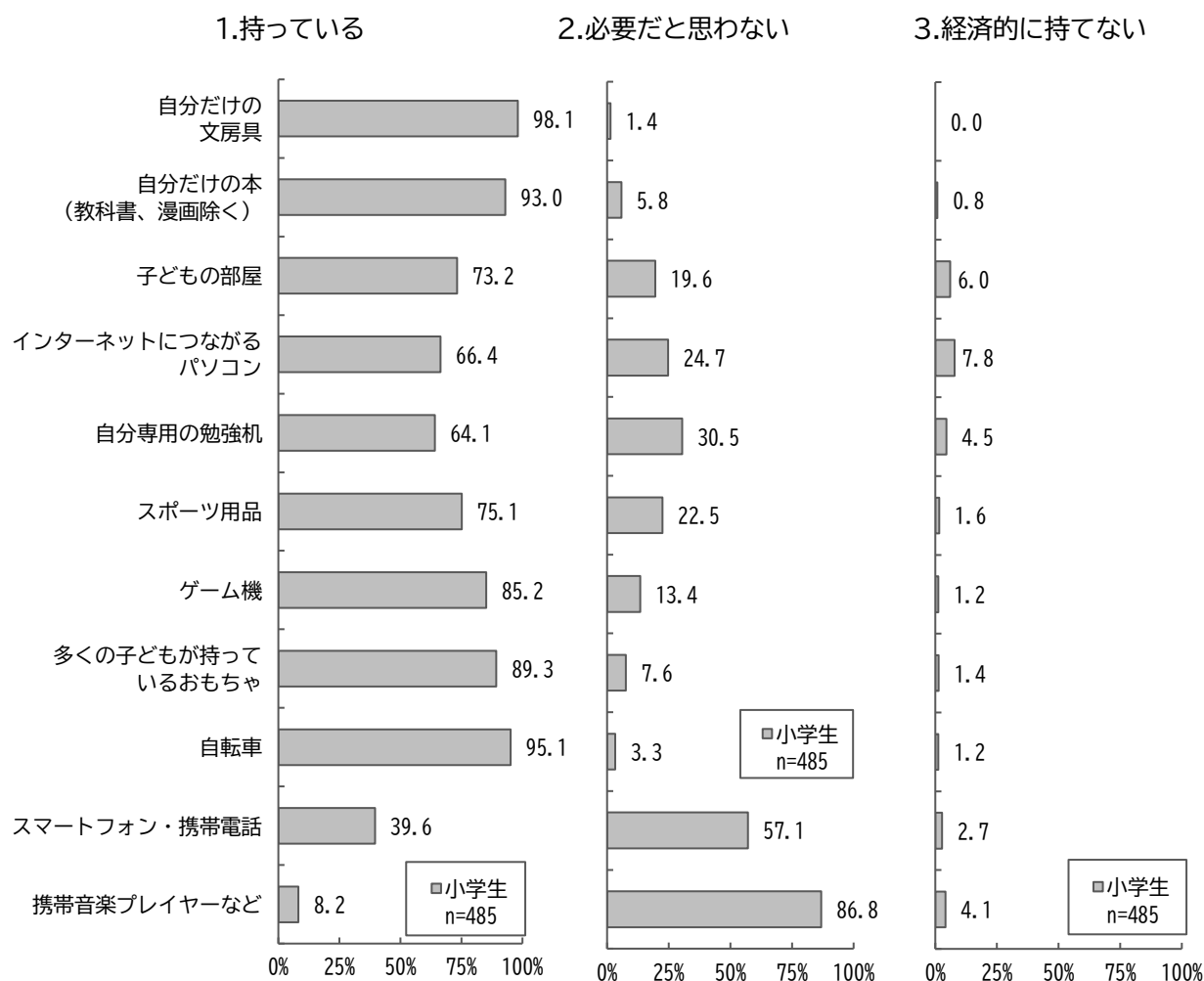


問33[問13] 起床時間、就寝時間



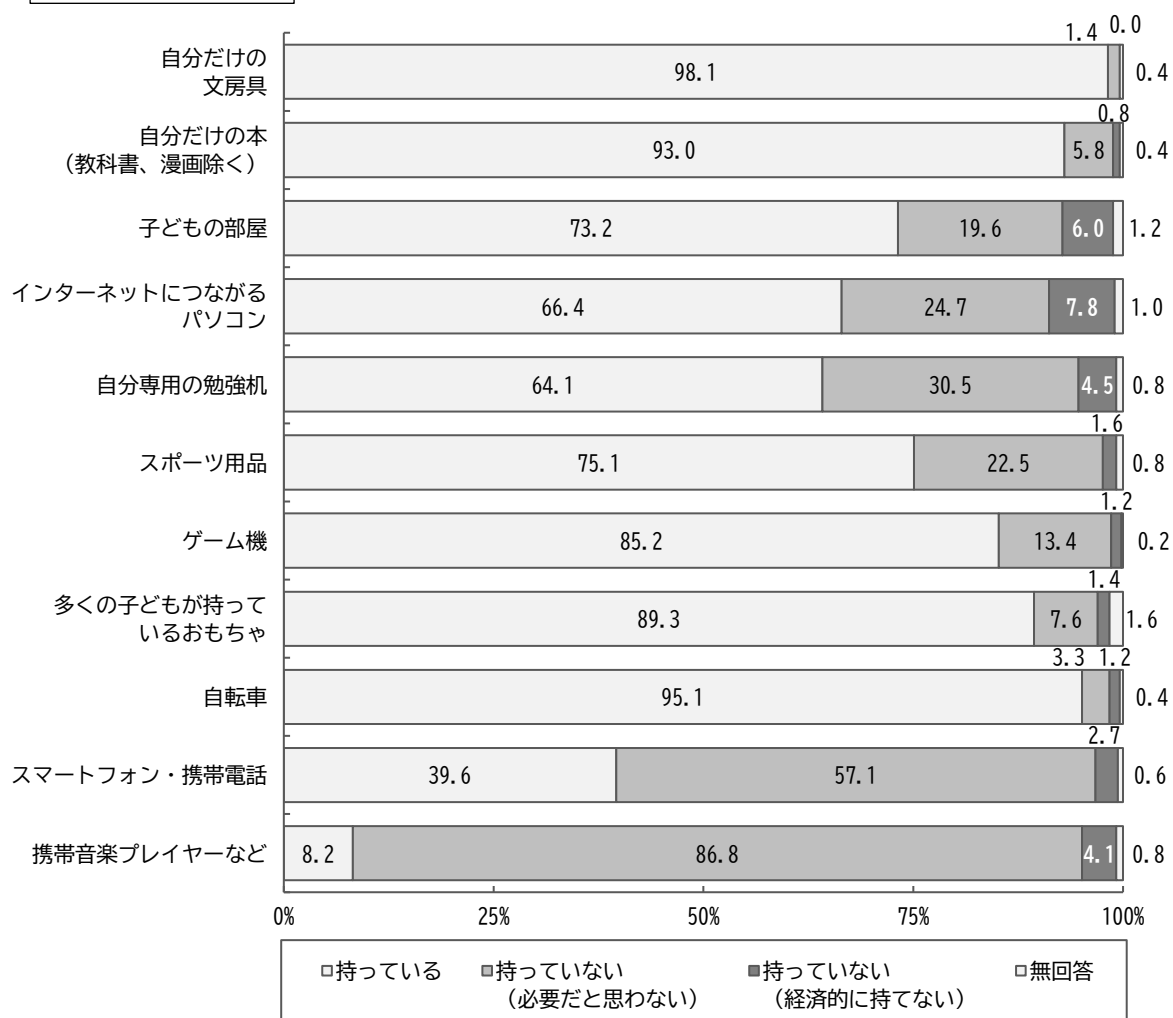
- 小学生の持ち物についてみると、持っている持ち物は「自分だけの文房具」(98.1%)が最も高く、次いで「自転車」(95.1%)、「自分だけの本」(93.0%)となっています。
- 持っていない(必要だと思わない)ものと、「携帯音楽プレイヤーなど」(86.8%)が最も高く、次いで「スマートフォン・携帯電話」(57.1%)となっています。
- 持っていない(経済的に持てない)ものをみると、「インターネットにつながるパソコン」(7.8%)が最も高くなっています。

[問14] 子ども専用の持ち物



〔問14〕 子ども専用の持ち物

小学生 n=485

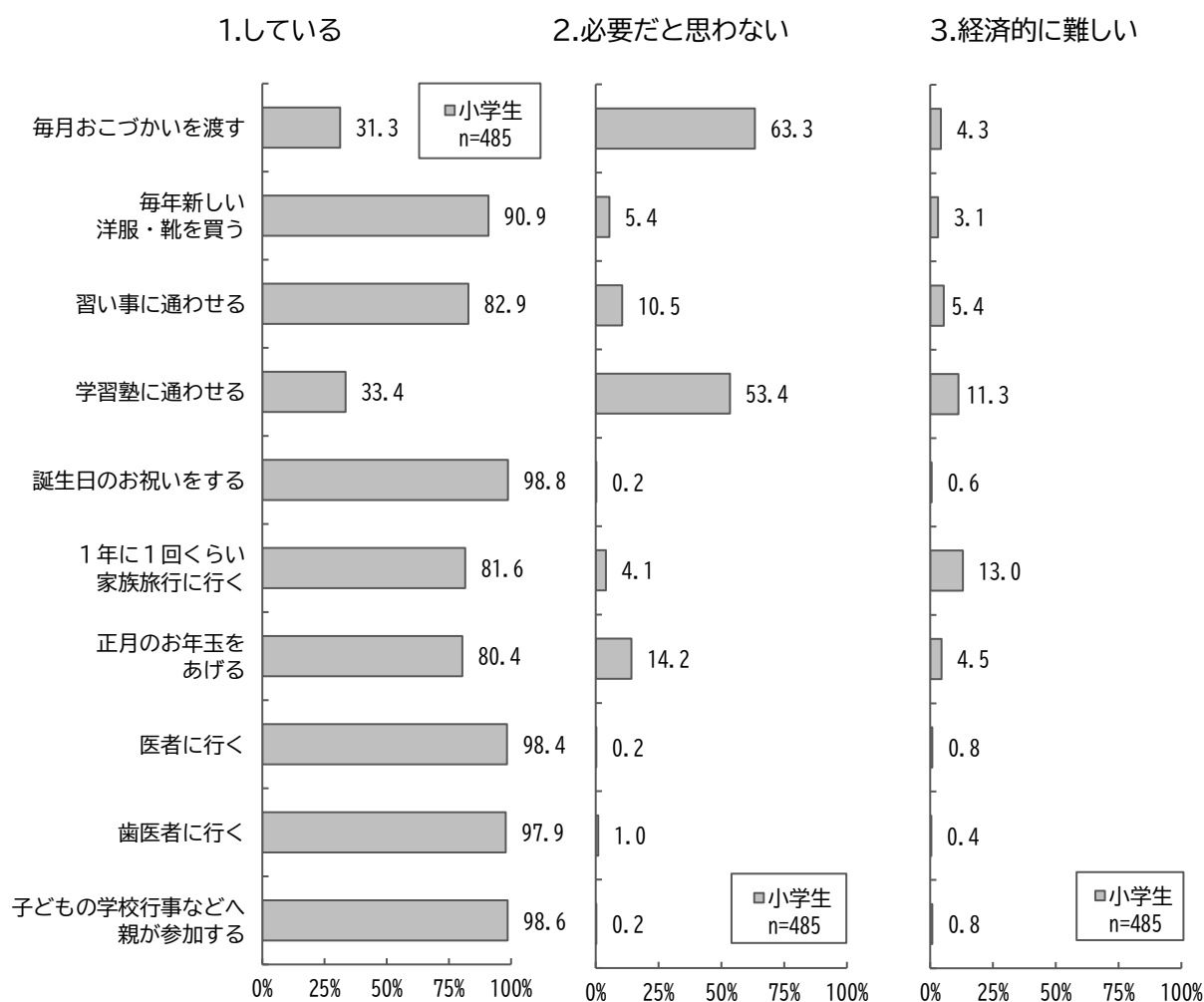


○小学生の家庭でしてあげていることについてみると、していることは「誕生日のお祝いをする」(98.8%)が最も高く、次いで「医者に行く」(98.4%)、「歯医者に行く」(97.9%)となっています。

○していない(必要だと思わない)ことをみると、「毎月おこづかいを渡す」(63.3%)が最も高く、次いで「学習塾に通わせる」(53.4%)となっています。

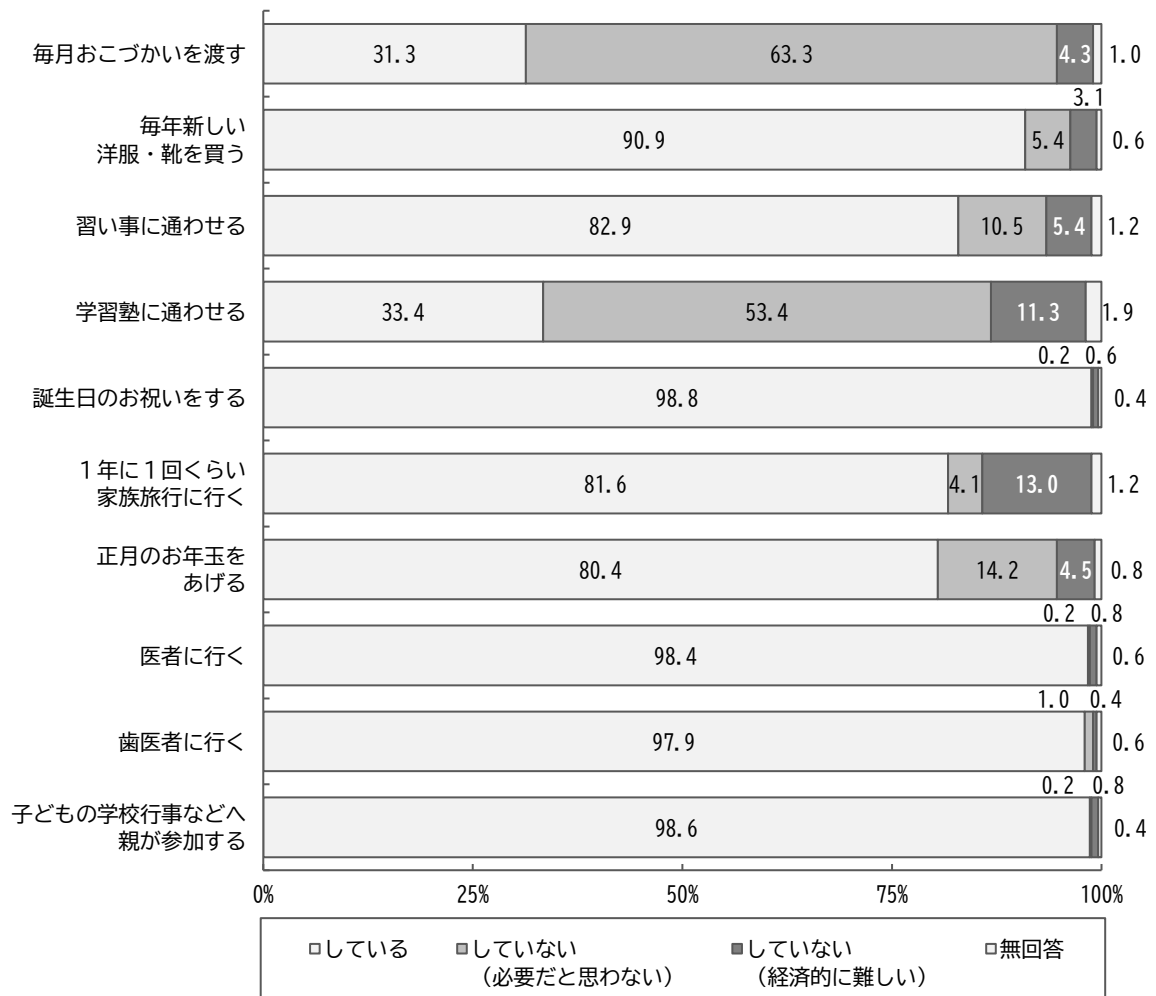
○していない(経済的に難しい)ことをみると、「1年に1回くらい家族旅行に行く」(13.0%)が最も高く、次いで「学習塾に通わせる」(11.3%)となっています。

〔問15〕子どもに家庭でしてあげていること



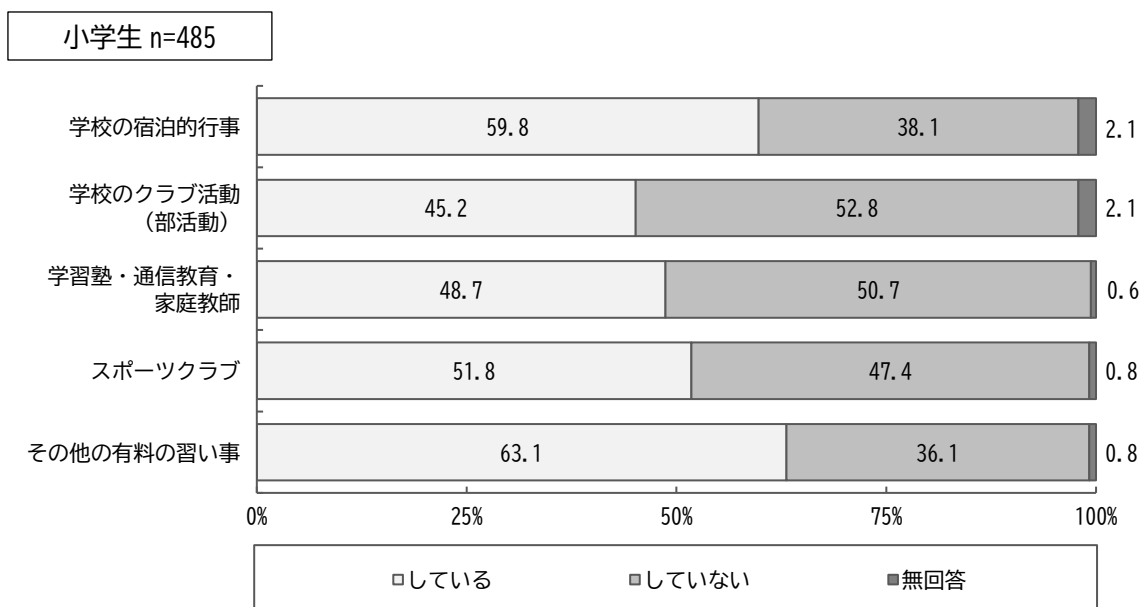
〔問15〕 子どもに家庭ですてあげていること

小学生 n=485



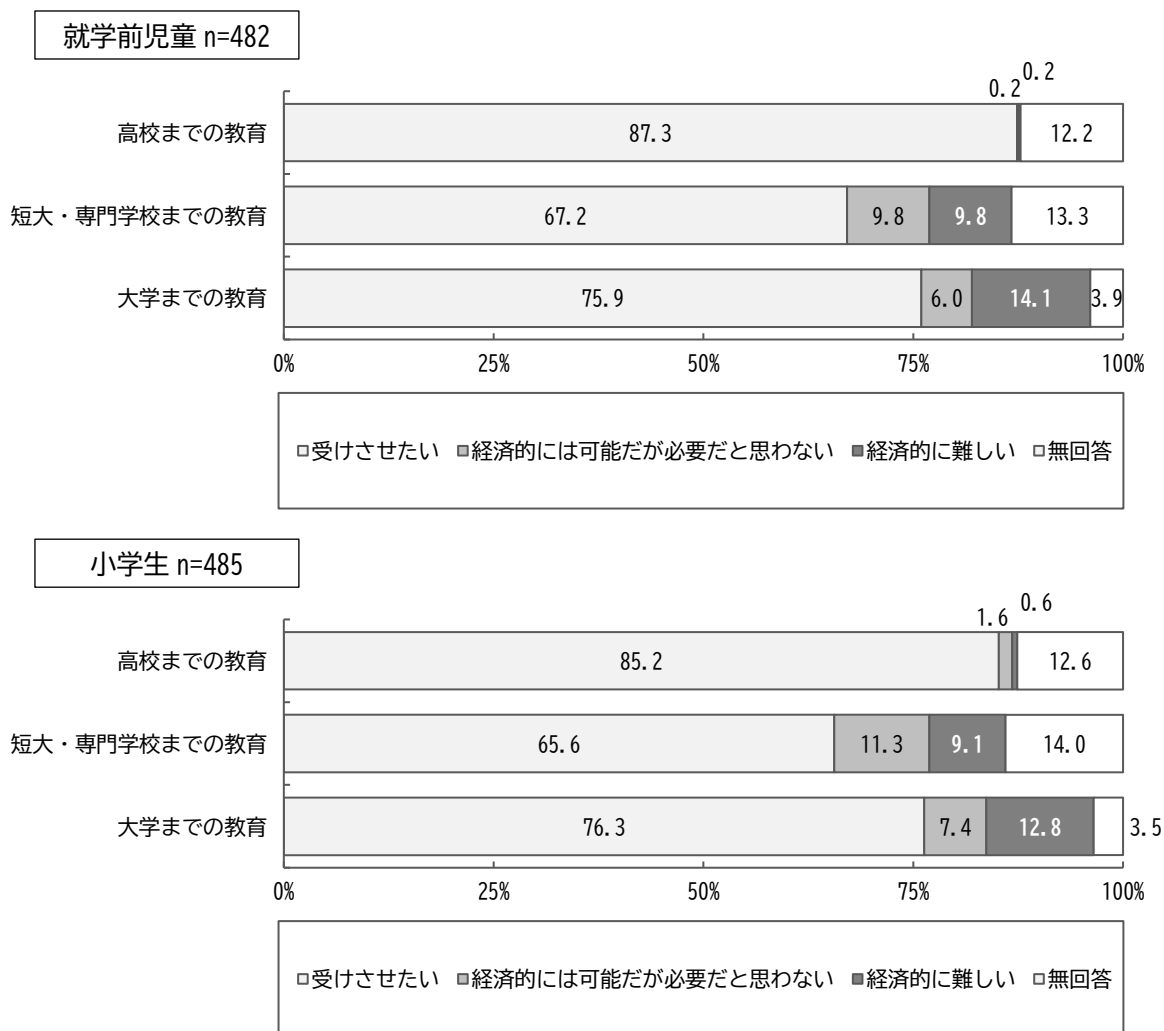
○小学生の家庭でしてあげていることについてみると、していることは「その他の有料の習い事」(63.1%)が最も高く、次いで「学校の宿泊的行事」(59.8%)、「スポーツクラブ」(51.8%)となっています。

〔問16〕 学校の行事やクラブ活、有料の習い事をしているか



○どの段階まで教育を受けさせたいかについてみると、就学前児童では「大学までの教育」(75.9%)が最も高くなっています。小学生では「高校までの教育」(85.2%)が最も高くなっています。

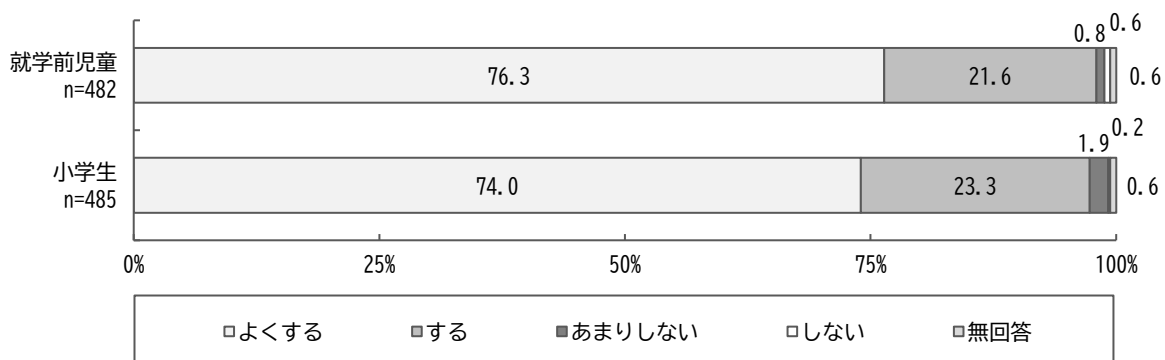
問34[問17] どの段階まで教育を受けさせたいか



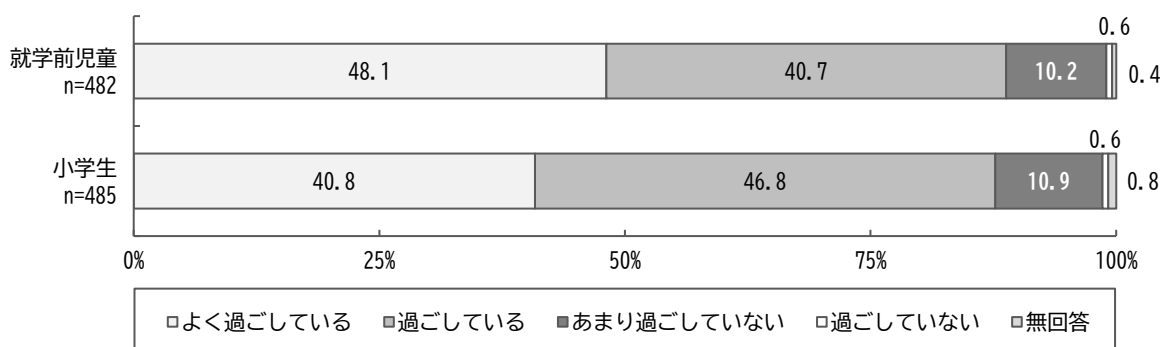
○子どもと会話をするかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「よくする」（就学前児童76.3％・小学生74.0％）が最も高くなっています。

○子どもと十分時間を過ごしているかについてみると、就学前児童では「よく過ごしている」（48.1％）が最も高くなっています。小学生では「過ごしている」（46.8％）が最も高くなっています。

問35①[問18①] 子どもと会話をするか

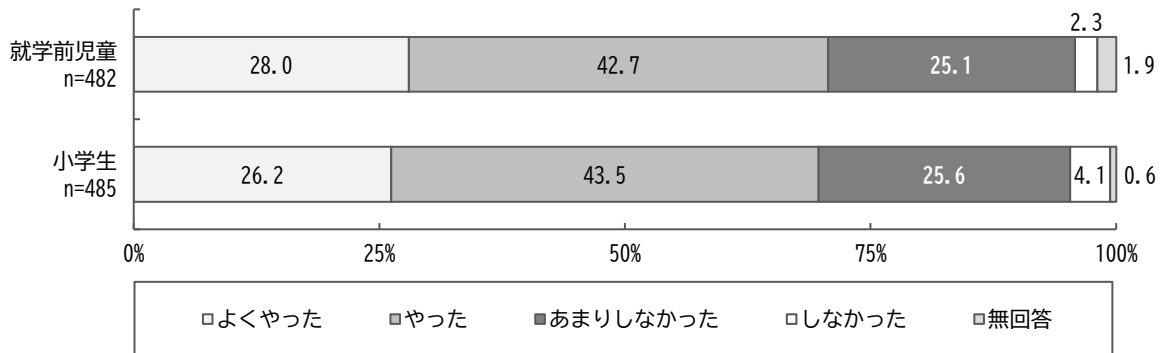


問35②[問18②] 子どもと十分時間を過ごしているか

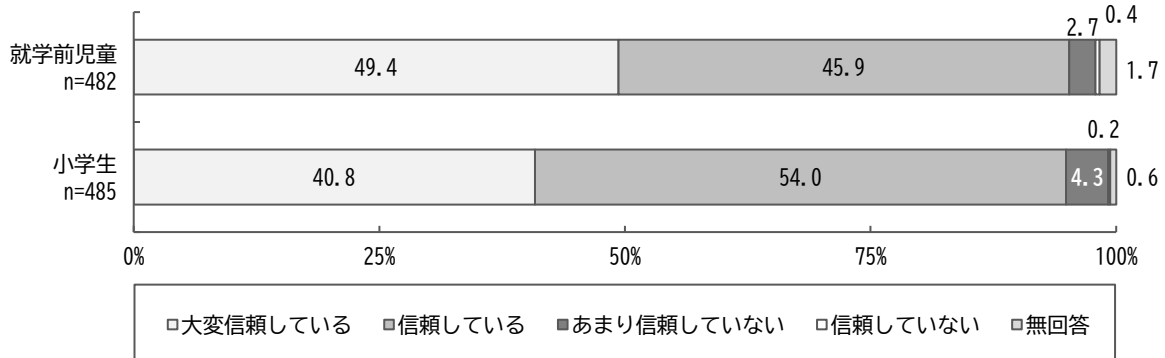


○子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしたかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「やった」(就学前児童42.7%・小学生43.5%)が最も高くなっています。○子どもを信頼しているかについてみると、就学前児童では「大変信頼している」(49.4%)が最も高くなっています。小学生では「信頼している」(54.0%)が最も高くなっています。

問35③[問18③] 子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしたか

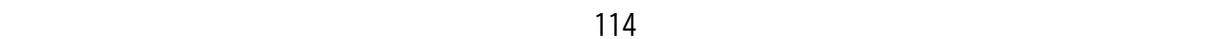


問35④[問18④] 子どもを信頼しているか



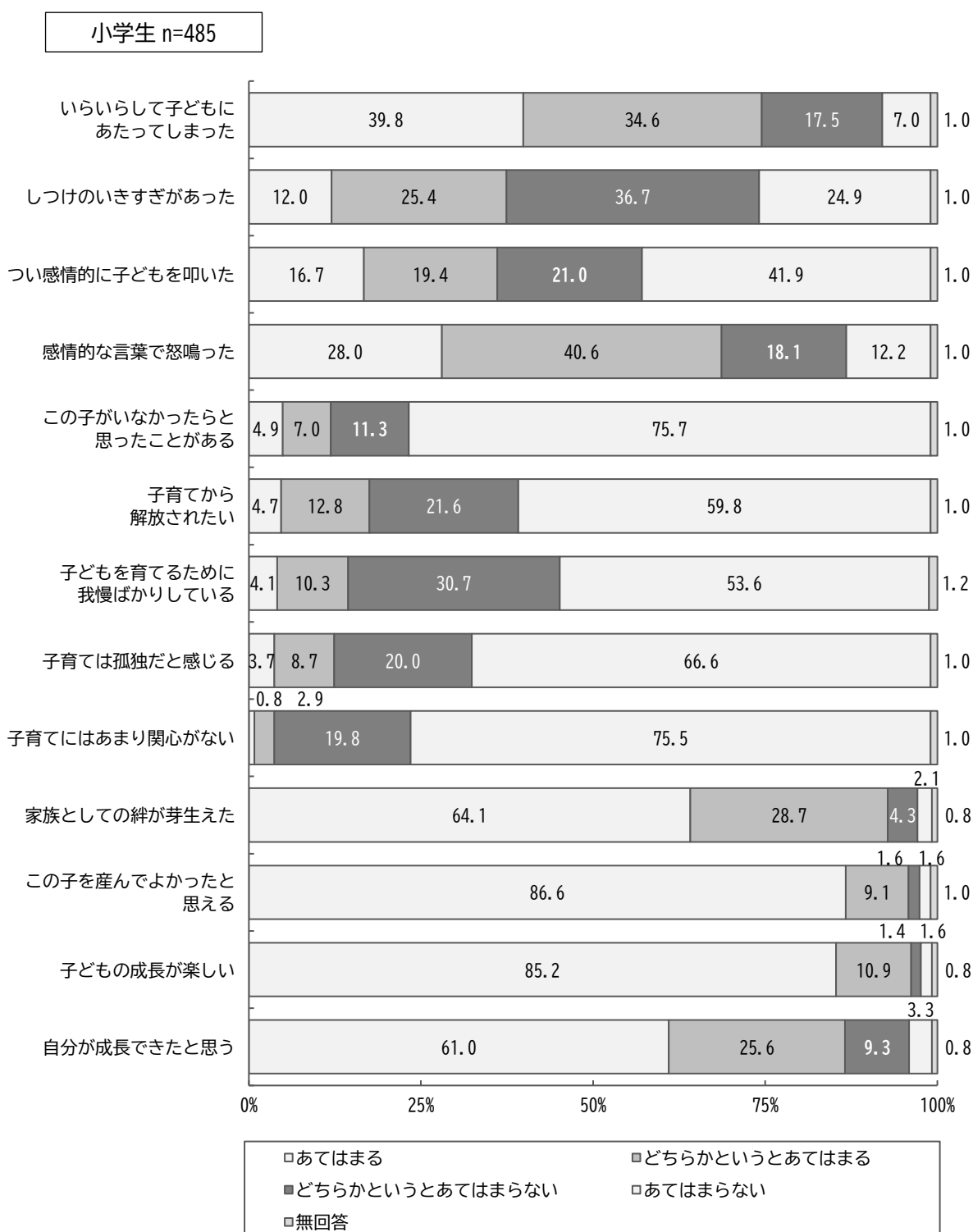
問36 これまでの子育ての中であったり思ったりしたことはあるか

就学前兒童 n=482



○これまでの子育ての中であったり思ったりしたことはあるかについてみると、小学生ではいらいらして子どもにあたってしまった、しつけのいきすぎがあった、つい感情的に子どもを叩いた、感情的な言葉で怒鳴ったに対して「あてはまる」または「どちらか」というとあてはまる」と回答された方が一定数います。

〔問19〕 これまでの子育ての中であったり思ったりしたことはあるか

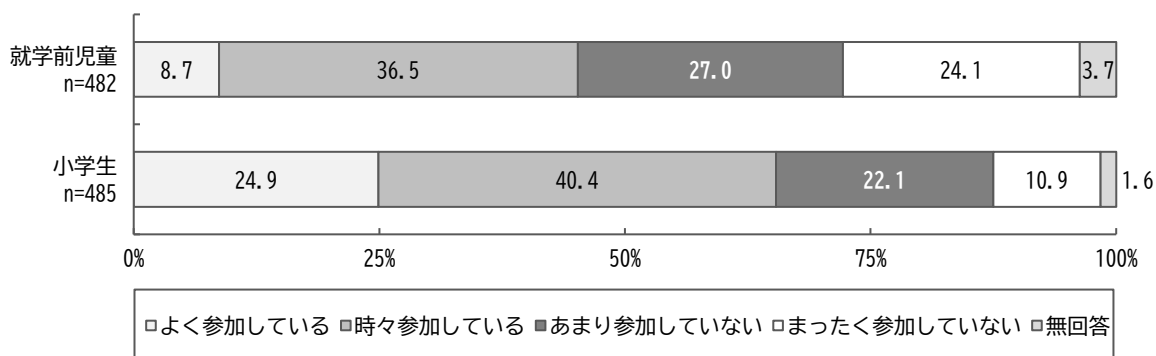


○地域の行事等に参加しているかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「時々参加している」（就学前児童36.5%・小学生40.4%）が最も高くなっています。

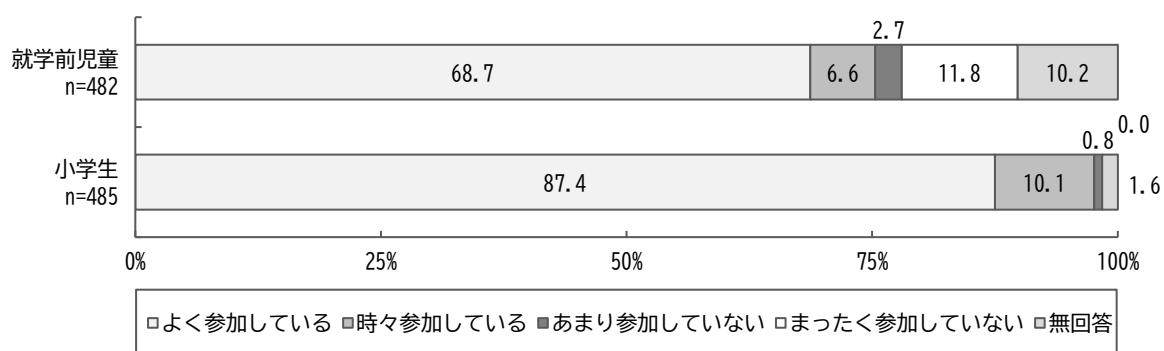
○子どもが通う園・学校の行事に参加しているかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「よく参加している」（就学前児童68.7%・小学生87.4%）が最も高くなっています。

○子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親族はいるかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「ある程度いる」（就学前児童55.8%・小学生61.6%）が最も高くなっています。

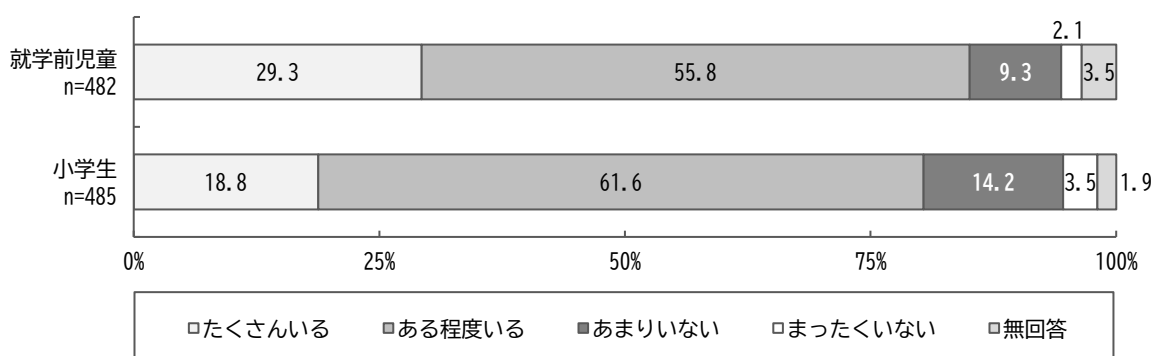
問37①[問20①] 地域の行事等に参加しているか



問37②[問20②] 子どもが通う園・通う学校の行事に参加しているか



問37③[問20③] 悩みを相談したり頼ったりできる親族はいるか

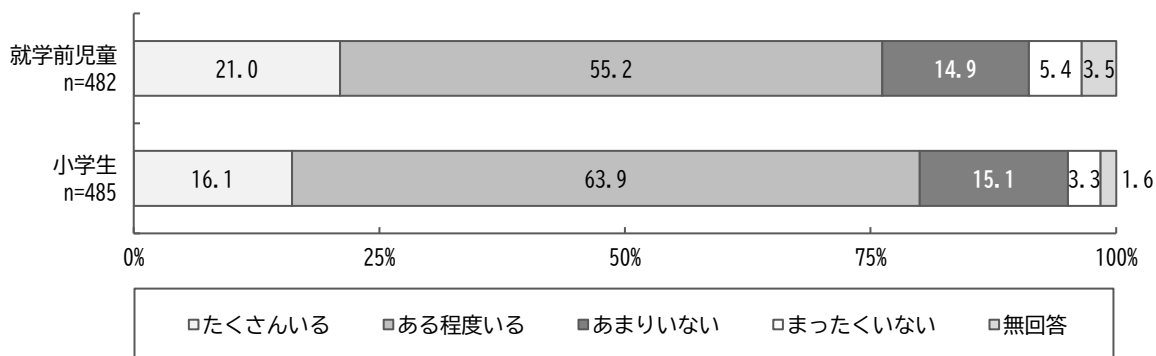


○子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人はいるかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「ある程度いる」（就学前児童55.2%・小学生63.9%）が最も高くなっています。

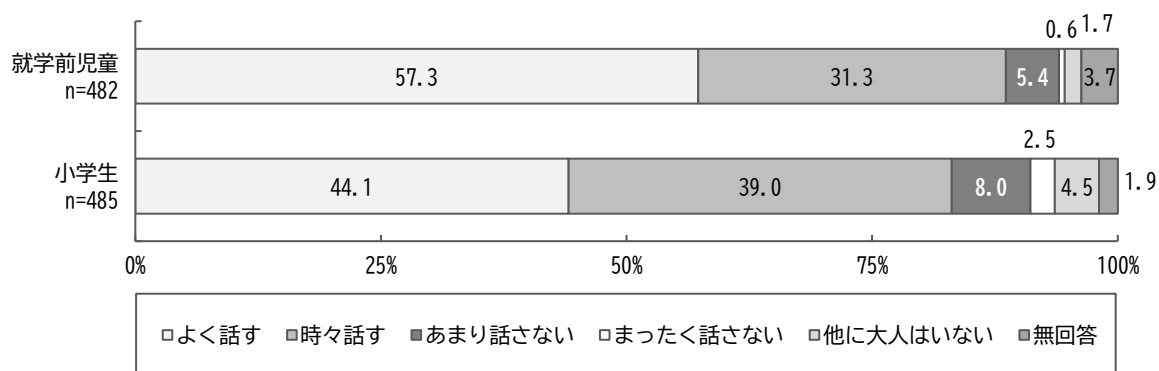
○同居している家族との間で、子育てや子どもの教育についてよく話をするかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「よく話す」（就学前児童57.3%・小学生44.1%）が最も高くなっています。

○生活上の困難（失業や低所得、病気、要介護の状態など）を解決するために、地域の人々はお互いに協力することが望ましいかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「どちらとも言えない」（就学前児童35.5%・小学生37.5%）が最も高くなっています。

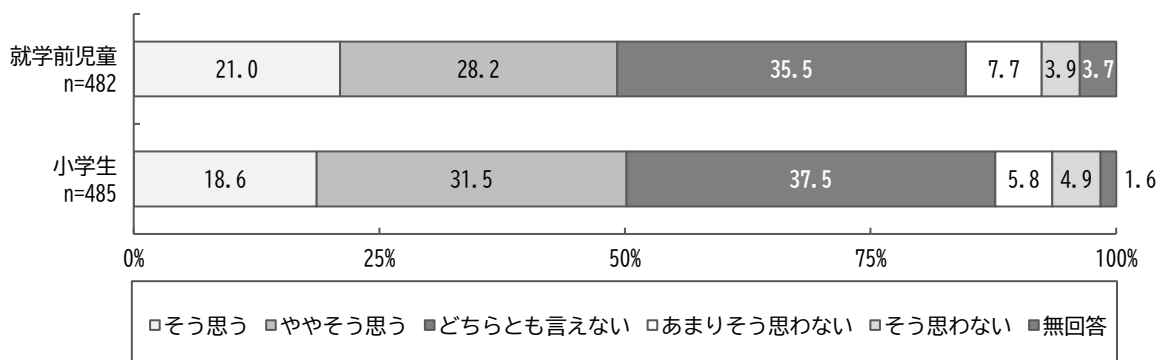
問37④[問20④] 悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人はいるか



問37⑤[問20⑤] 家族で、子育てや子どもの教育についてよく話をするか

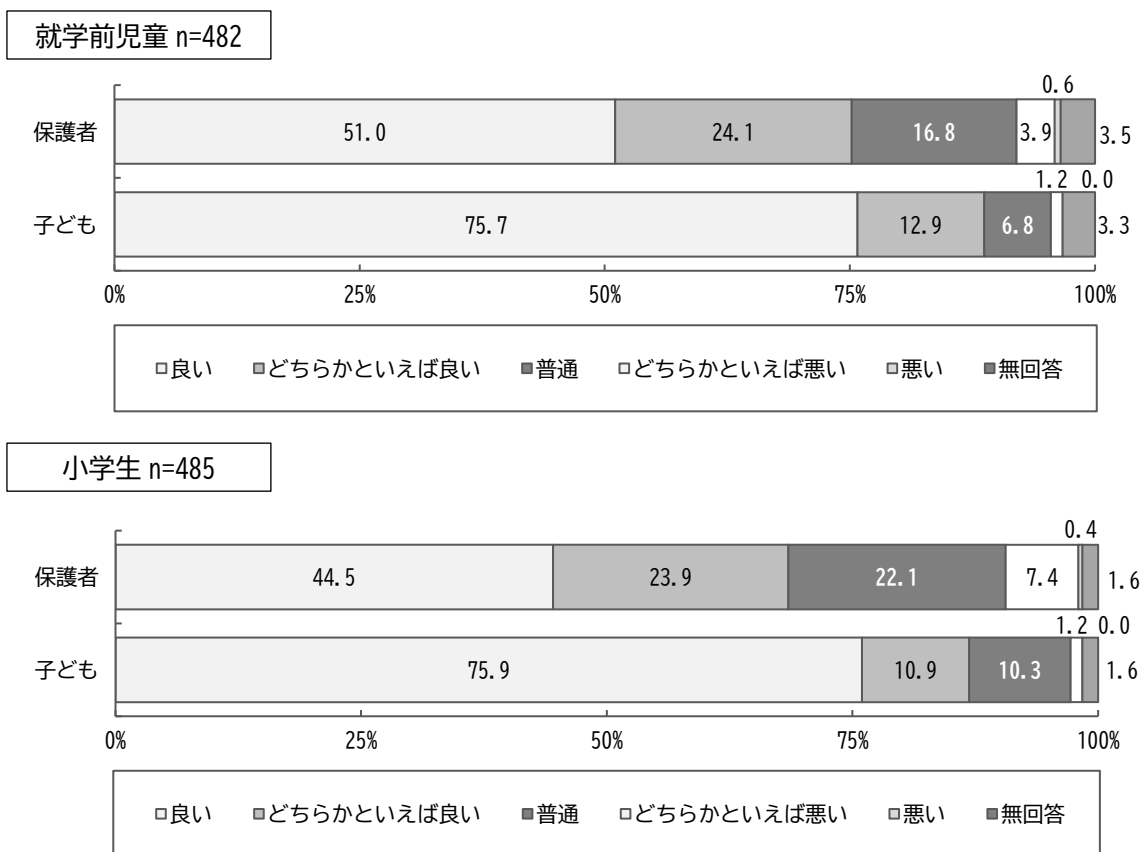


問37⑥[問20⑥] 生活上の困難を解決するために、地域の人々と協力することが望ましいか



○保護者と子どもの健康状態についてみると、保護者・子どもの状態は就学前児童、小学生いずれも「良い」（就学前児童保護者51.0%、就学前子ども75.7%・小学生保護者44.5%・小学生子ども75.9%）が最も高くなっています。

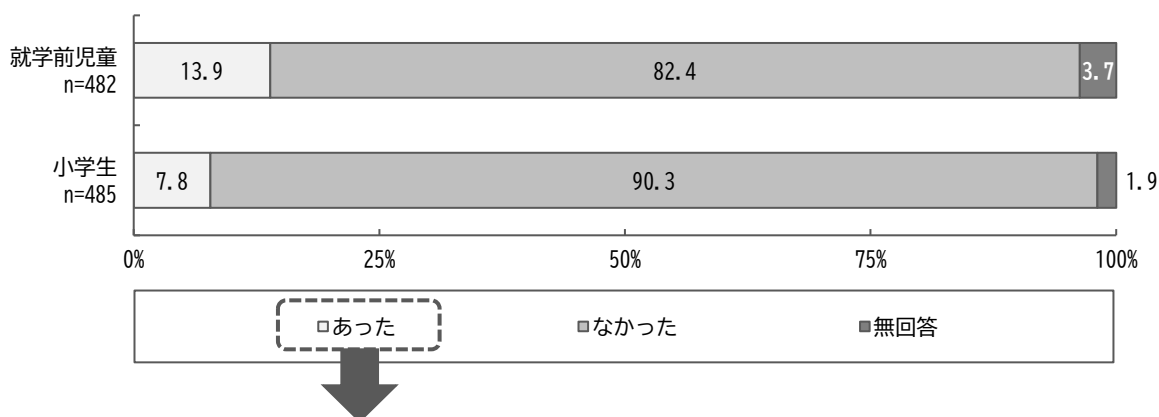
問38[問21] 健康状態



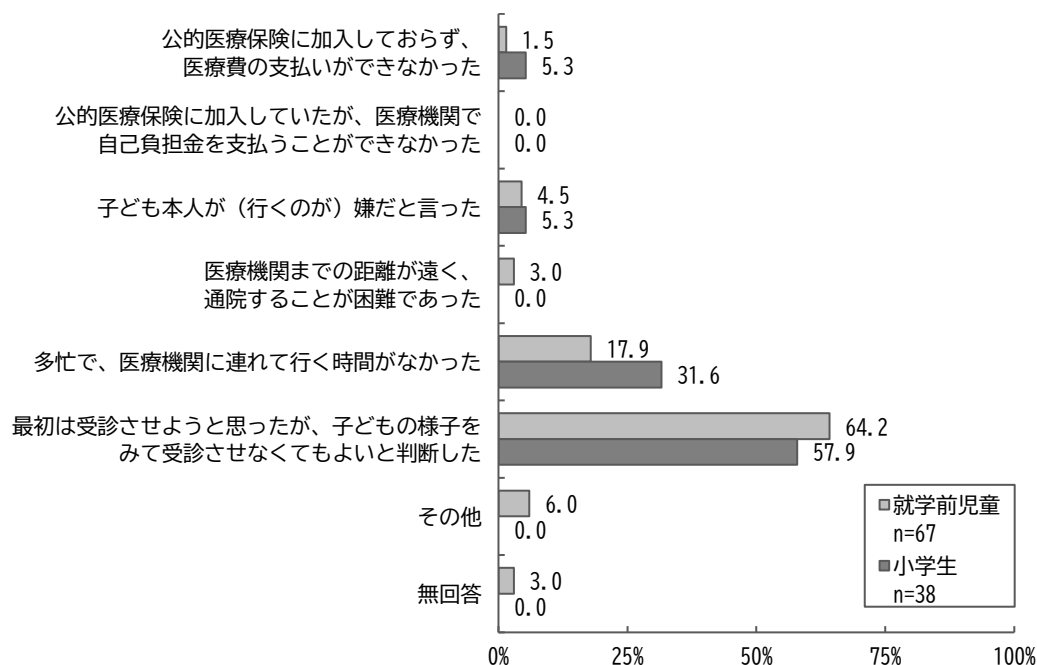
○過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことについてみると、就学前児童、小学生いずれも「なかった」が就学前児童で82.4%、小学生で90.3%となっています。

○医療機関に受診させなかった理由についてみると、就学前児童、小学生いずれも「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て受診させなくてもよいと判断した」(就学前児童64.2%・小学生57.9%)が最も高くなっています。

問39[問22] 医療機関に受診させなかったことがあったか

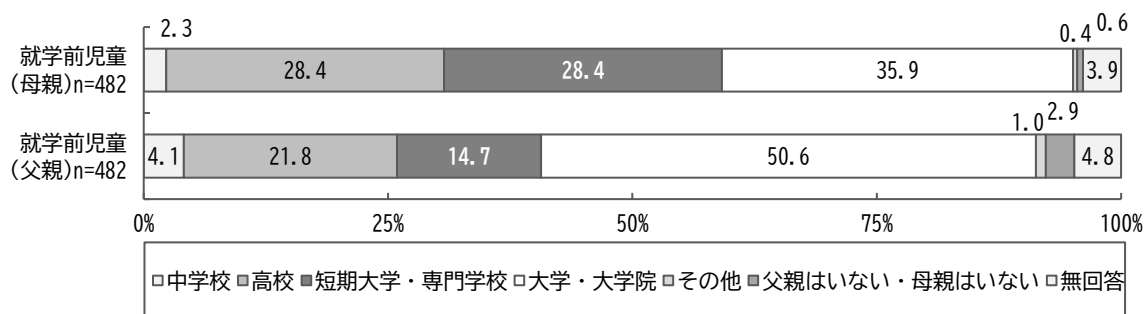


問39-1[問22-1] 医療機関に受診させなかった理由

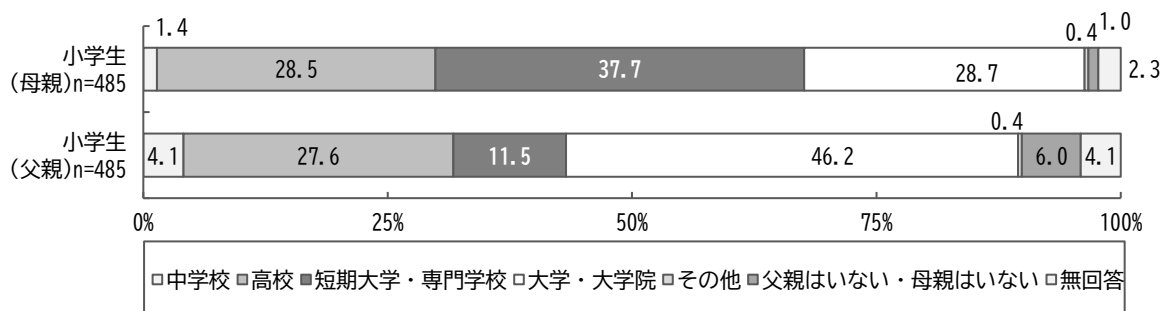


- 保護者の最終学歴についてみると、就学前児童では母親父親いずれも「大学・大学院」(母親35.9%・父親50.6%)が最も高くなっています。小学生では母親が「短期大学・専門学校」(37.7%)、父親が「大学・大学院」(46.2%)が最も高くなっています。
- 現在の暮らしの状況についてみると、就学前児童、小学生いずれも「普通」(就学前児童53.7%・小学生55.7%)が最も高くなっています。

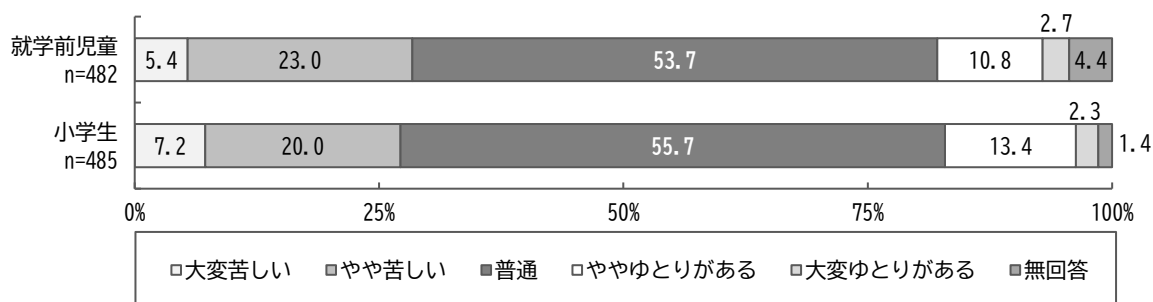
問40 保護者の最終学歴



〔問23〕 保護者の最終学歴

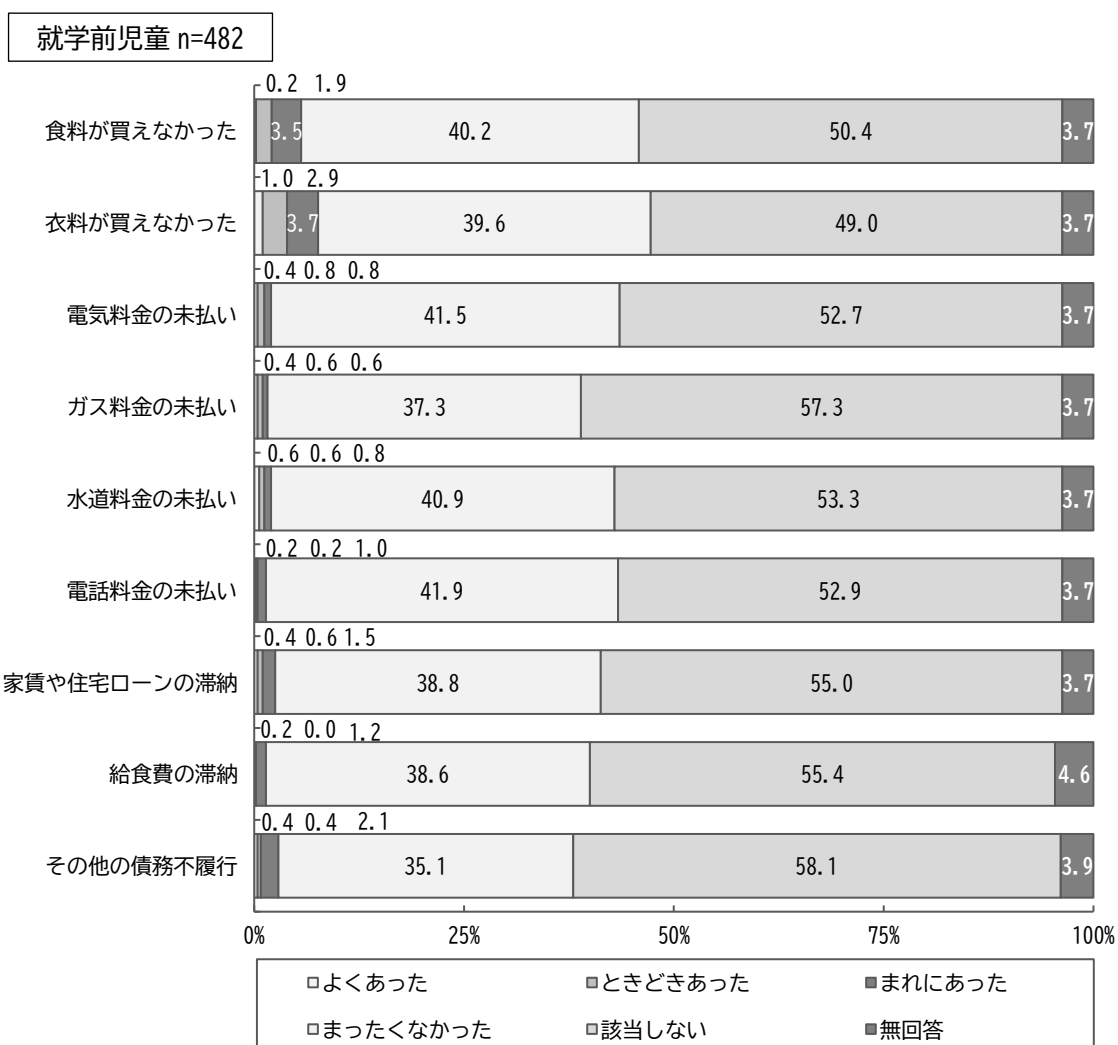


問41〔問24〕 現在の暮らしの状況



○経済的な理由で食料や衣類の購入、月々の支払ができないことがあったかについてみると、就学前児童ではほとんどの項目で「該当しない」が5割以上となっています。

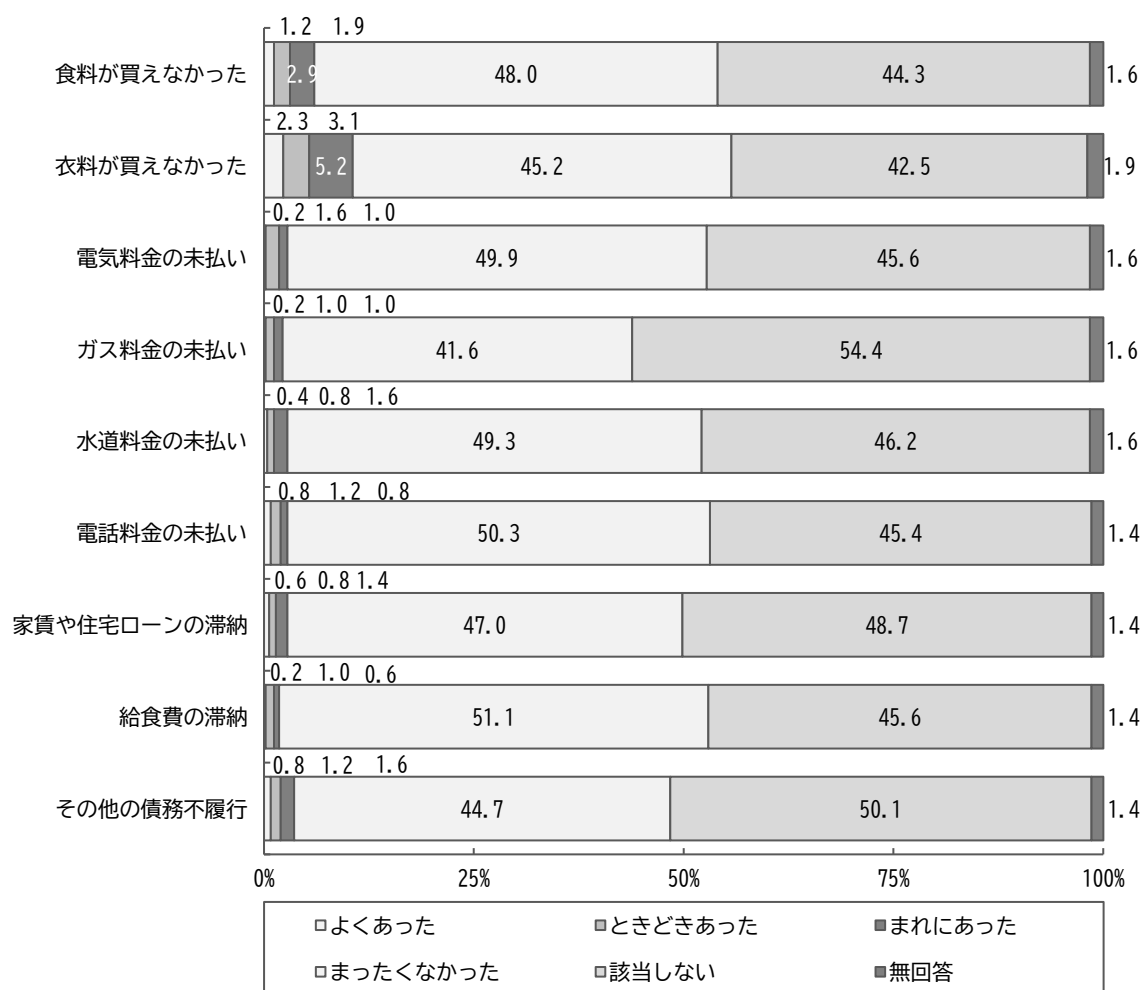
問42 経済的な理由で食料や衣類の購入、月々の支払ができないことがあったか



○経済的な理由で食料や衣類の購入、月々の支払ができないことがあったかについてみると、小学生ではすべての項目で「まったくなかった」「該当しない」をあわせると、約9割となっています。

【問25】 経済的な理由で食料や衣類の購入、月々の支払ができないことがあったか

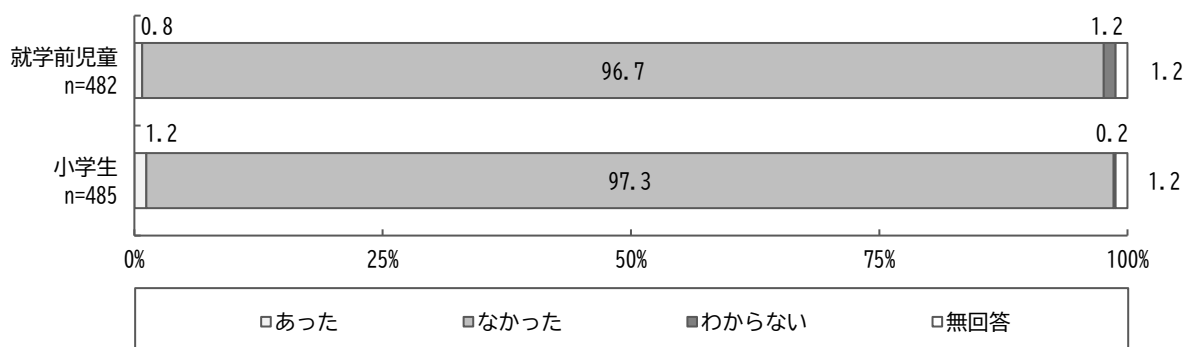
小学生 n=485



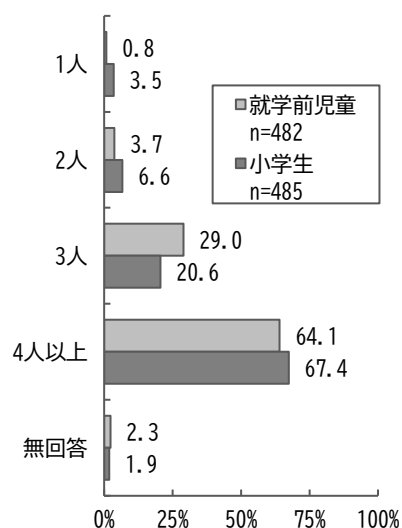
○お子さんが生まれてから現在までの間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道のいずれかを止められたことの有無についてみると、就学前児童、小学生ともに「なかった」（就学前児童96.7%、小学生97.3%）が最も高くなっています。一方、「あった」は就学前児童で0.8%、小学生で1.2%となっています。

○生計をともにしている人数についてみると、就学前児童、小学生ともに「4人以上」（就学前児童64.1%、小学生67.4%）が最も高くなっています。

問43[問26] 経済的理由の料金滞納で電気・ガス・水道を止められたことの有無

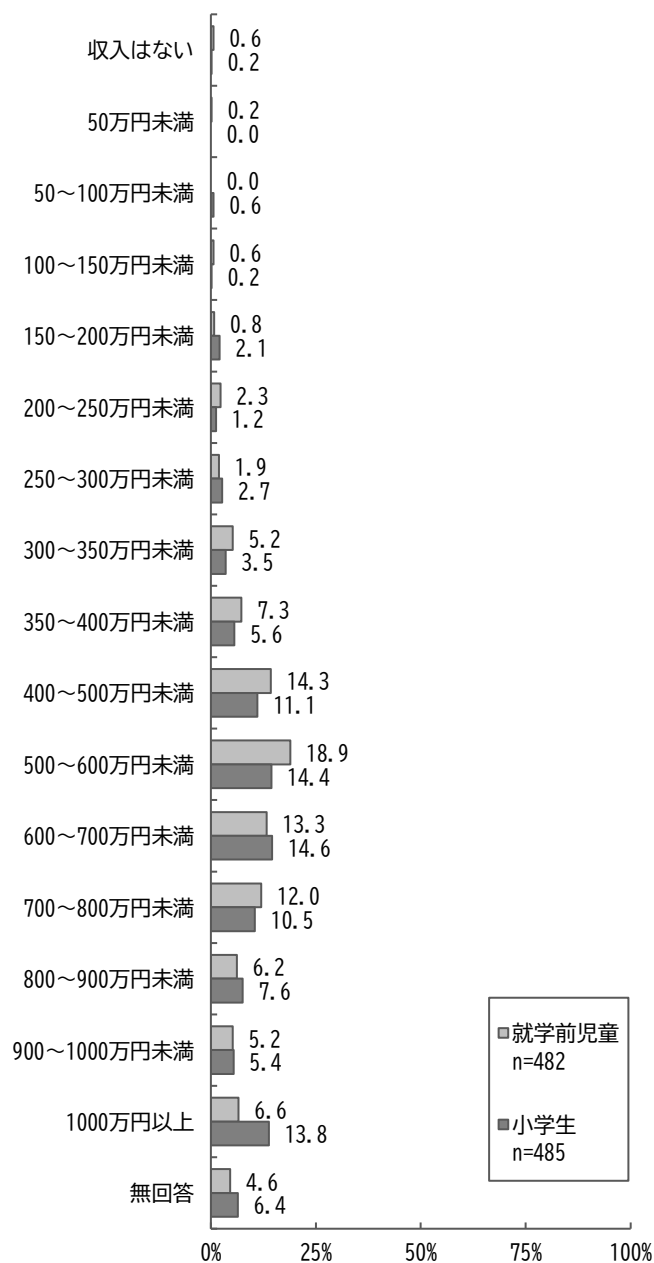


問44[問27] 生計をともにしている人数



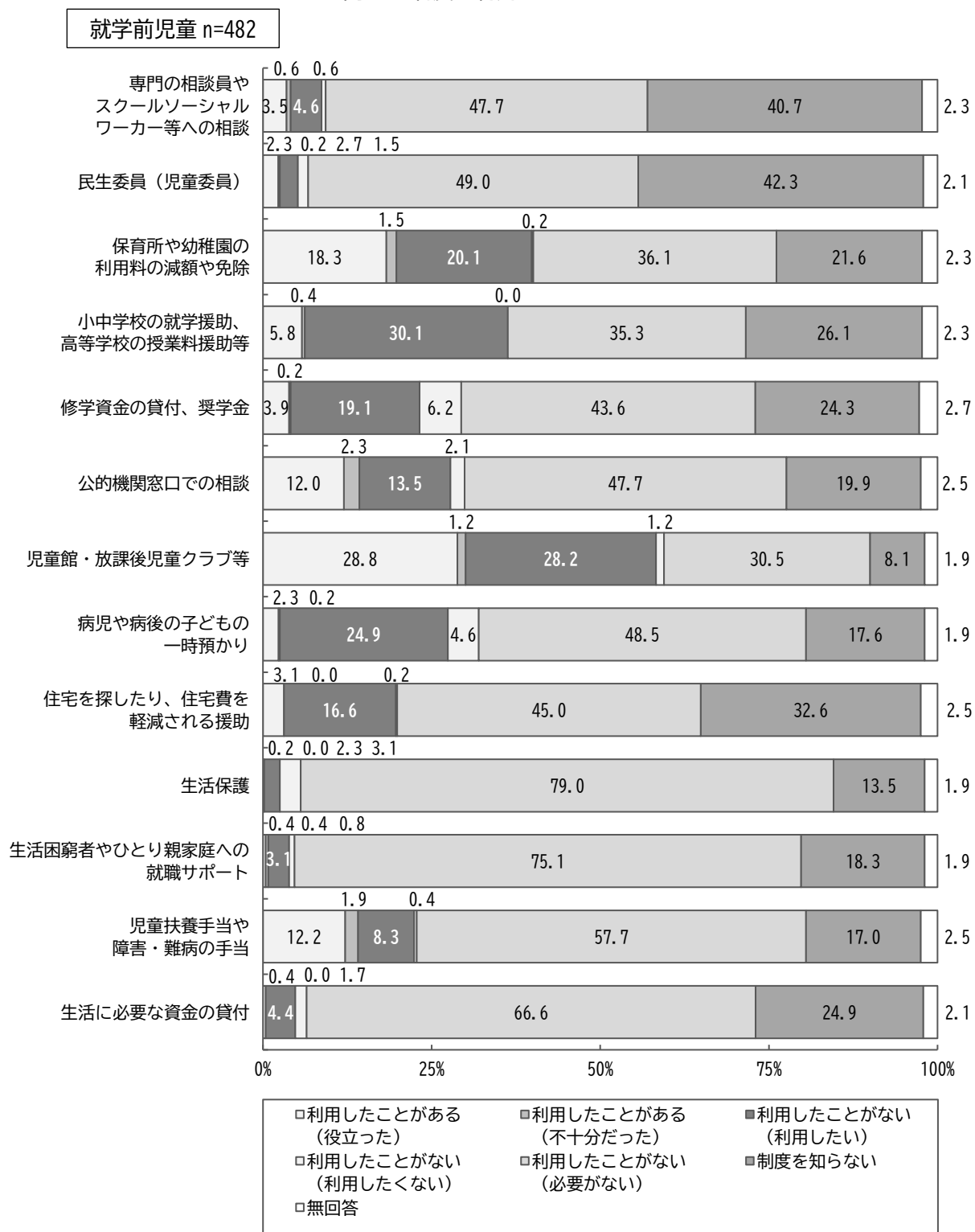
○世帯の収入をみると、就学前児童では「500～600万円未満」(18.9%)が最も高く、次いで「400～500万円未満」(14.3%)となっています。小学生では「600～700万円未満」(14.6%)が最も高く、次いで、「500～600万円未満」(14.4%)となっています。

問45[問28] 世帯の収入



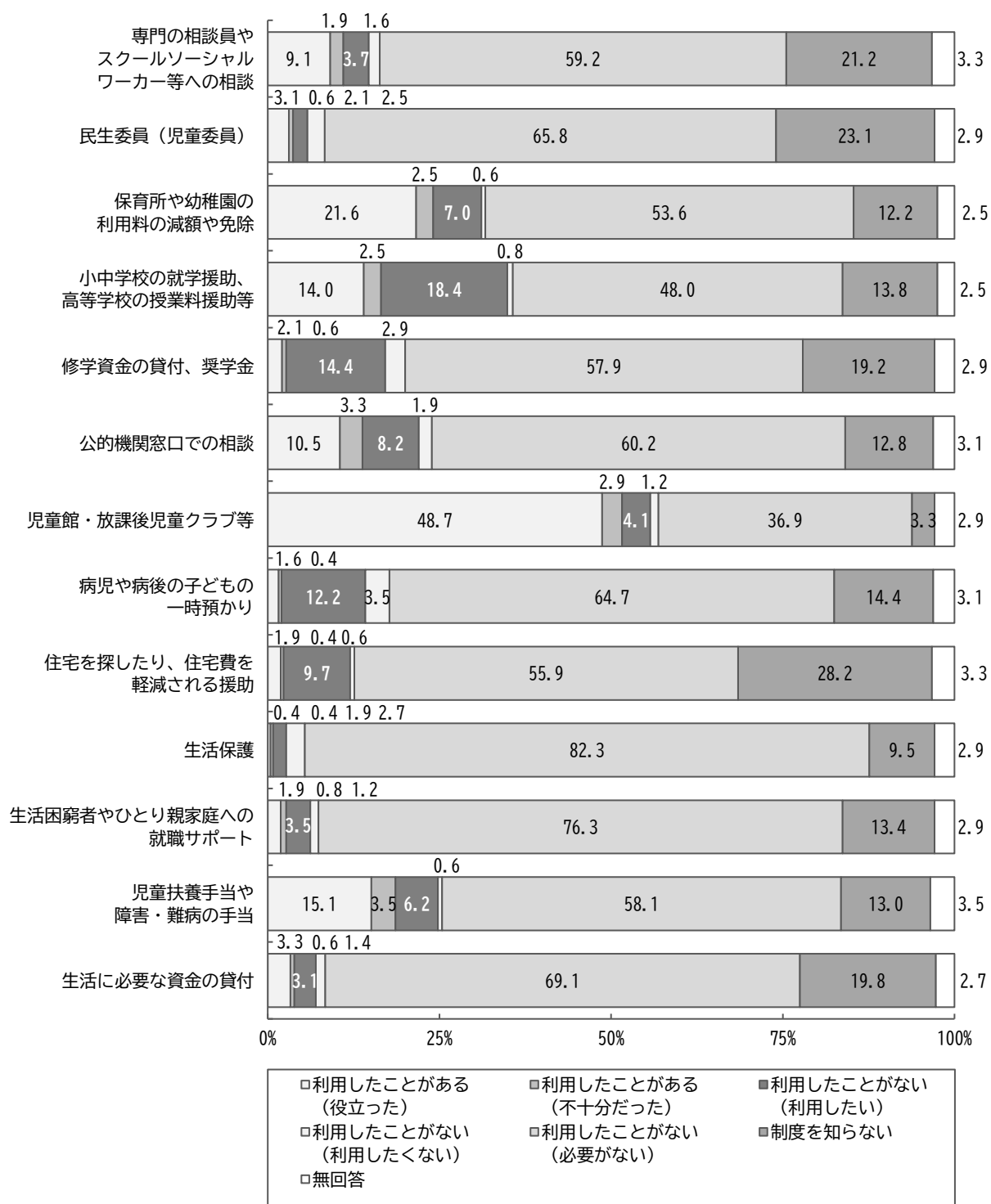
○制度を利用したことがあるかについては以下のとおりです。

問46 制度を利用したことがあるか



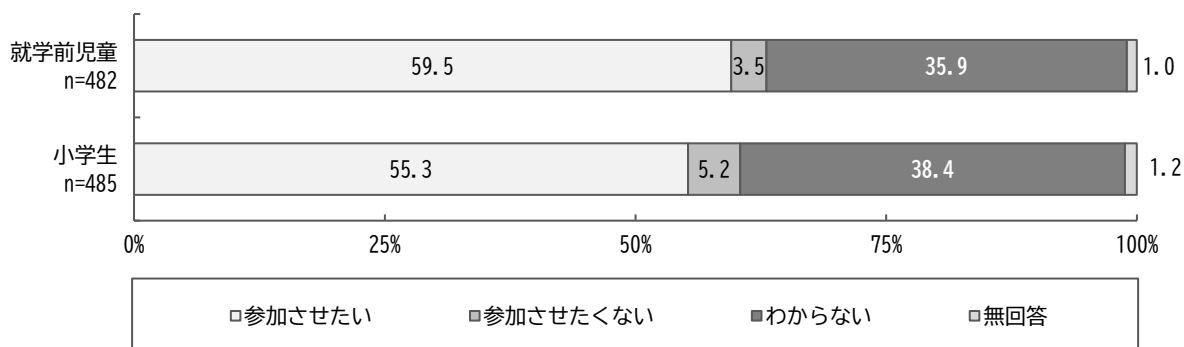
〔問29〕 制度を利用したことがあるか

小学生 n=485

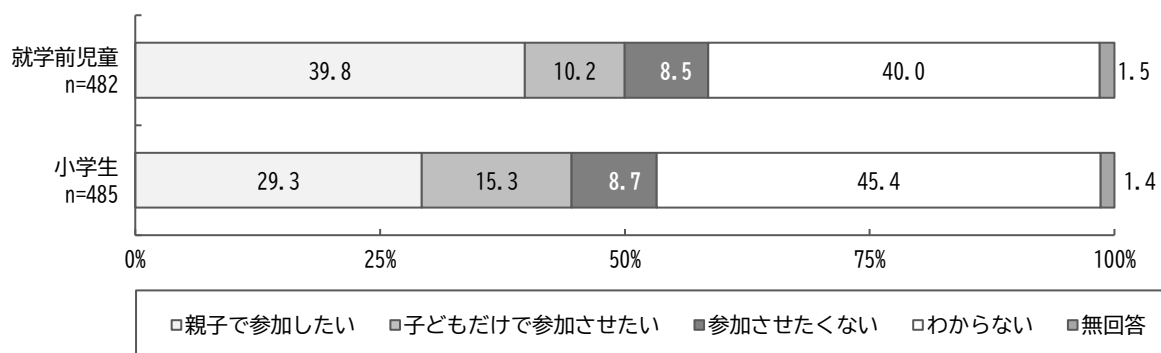


○ボランティア等による無料の学習塾に参加させたいかをみると、就学前児童、小学生ともに「参加させたい」（就学前児童59.5%、小学生55.3%）が最も高くなっています。
○地域に「子ども食堂」があったら、参加させたいかをみると、就学前児童、小学生ともに「わからない」（就学前児童40.0%、小学生45.4%）が最も高くなっています。

問47[問30] ボランティア等による無料の学習塾に参加させたいか



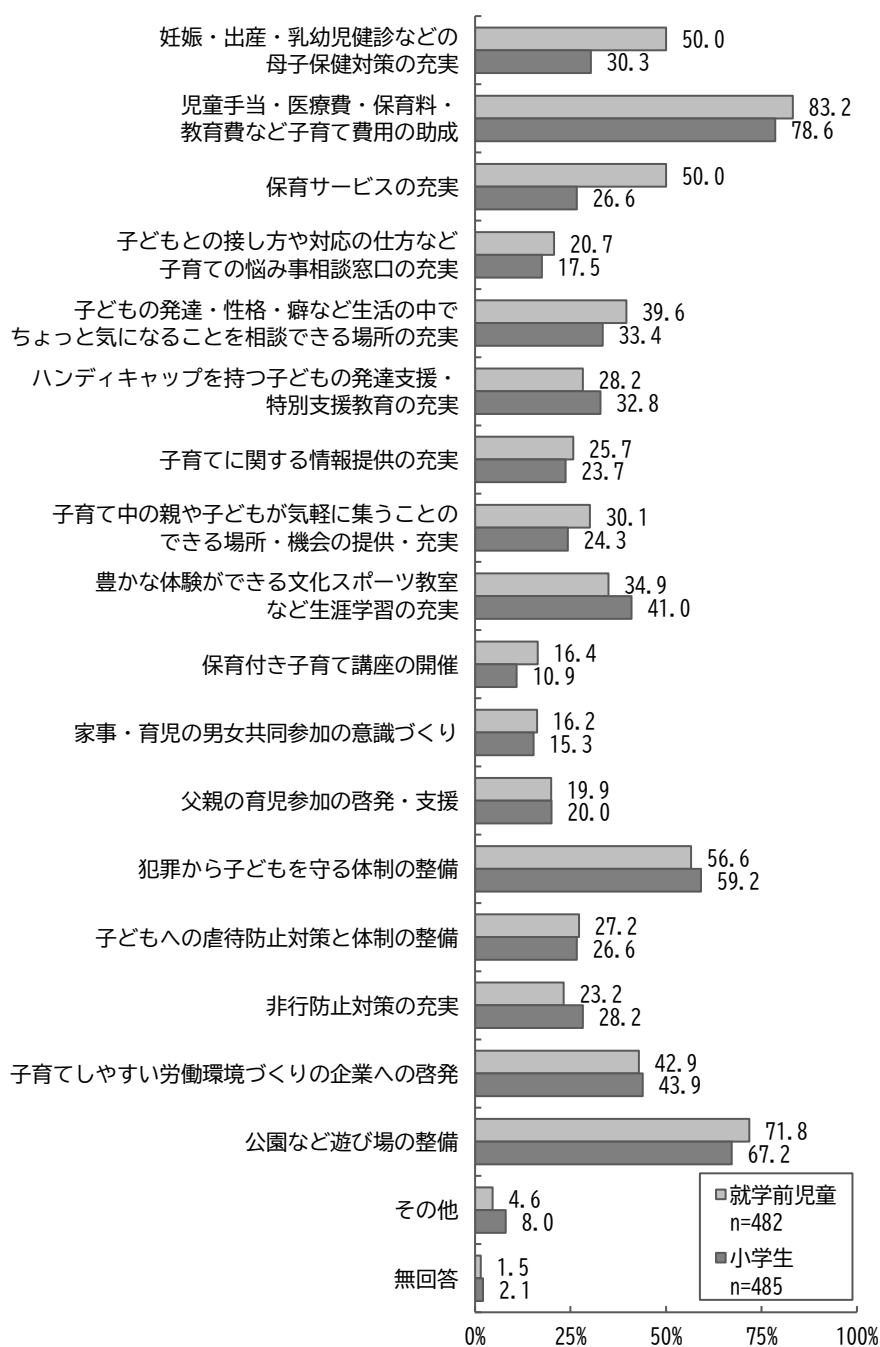
問48[問31] 地域に「子ども食堂」があったら、参加させたい



2 市に望む子育て支援策

〇市の子育て支援策として、今後何に力を入れていくべきだと思うことについてみると、就学前児童、小学生いずれも「児童手当・医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」(就学前児童83.2%・小学生78.6%)が最も高く、次いで「公園など遊び場の整備」(就学前児童71.8%・小学生67.2%)、「犯罪から子どもを守る体制の整備」(就学前児童56.6%・小学生59.2%)となっています。

問49[問32] 市の子育て支援策として、今後何に力を入れていくべきだと思うこと



3 子育ての環境や支援の満足度における分析、課題

結果1 地域の行事や園・学校の行事への参加（「よく参加している」＋「時々参加している」）割合は高いが、まったく参加していない割合は就学前児童で高い

地域の行事等に参加している割合（「よく参加している」＋「時々参加している」）は就学前児童で45.2%、小学生で65.3%となっています。

また、お子さんが通う園や学校の行事に参加している割合（「よく参加している」＋「時々参加している」）は、就学前児童で75.3%、小学生で97.5%となっています。

一方で、地域の行事等にまったく参加していない割合は、就学前児童で24.1%、小学生で10.9%、園や学校の行事にまったく参加していない割合は、就学前児童で11.8%となっています。【問37①②、[問20①②]】



以上の結果から、行事の参加については年齢が上がると参加率が高くなる傾向にありますが、まったく行事に参加していない割合が就学前児童保護者で高い結果となっています。

地域住民や園・学校との関わりが少ない家庭が一定数みられることから、民生委員、児童委員をはじめ、地域住民の声掛け等、推進していく必要があります。また、子どもの人間関係形成能力をはぐくむために、地域で交流できる機会やイベントの企画などを通して、地域全体で子どもを見守っていく環境づくりの整備が望まれます。

結果2 市に望む子育て支援策は、就学前児童、小学生いずれも「児童手当・医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」

市に望む子育て支援策についてみると、就学前児童、小学生いずれも「児童手当・医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」（就学前児童83.2%・小学生78.6%）が最も高くなっています。

また、「犯罪から子どもを守る体制の整備」についても就学前児童で56.6%、小学生で59.2%となっており、関心が高くなっています。【問49、[問32]】



今後更に満足度を高め、子育てを楽しいと感じてもらうためには、多様化する子育て世帯のニーズに即した事業の見直し、改善が必要となります。満足度の向上に結び付くような支援や、仕事と子育ての両立を支援する新たな体制が求められていることから、引き続き子育て世帯のニーズに即した事業の検討が必要です。